

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年 3月 21日

公表:令和4年 3月 25日

事業所名 はぐくみ STEP

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・基準以上の広さは確保できています。	・今後も個々がゆとりのあるスペースで活動できるように工夫していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切である	5			・基準に合った人員配置をしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		・室内は段差がないバリアフリーになっています。	・手すりの設置がないため、必要に応じて整えていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			・全職員で目標設定、療育内容を話し合い、終了後に振り返りをしています。定期的にミーティングも行っていきます。課題が生じた場合は改善していくことができるように次の目標としています。	・引き続きPDCAサイクルを大切に、支援を行っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・年に一度、保護者による事業所評価を実施し、意向を把握しています。意見を参考に、改善に努めています。	・利用者様のご意見を反映しながら、より良い支援を行っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・ホームページにて公開しています。	・引き続き、利用者様への周知に努めます。(公開時、利用者様へお知らせいたします。)
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		・外部評価を必要とする事案が発生していないため、行っていません。	・現在、利用者様と社内の評価のみとなっています。今後、必要に応じて実施を検討したいと思います。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3		・今年度はコロナ禍のため、主に社内研修とオンラインでの外部研修の参加でした。	・コロナ禍が終息したら、積極的に外部研修にも参加したいと思います。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・利用者のニーズを把握し、事業所内個別支援会議にて課題を明確化しています。それを計画に反映させています。	・引き続き、適切にアセスメントを行い、利用者様のニーズに合った計画の作成に努めます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			・現在の子どもの発達状況が把握できるアセスメントシートを使用しています。	・現在使用しているアセスメントシートを継続して使用します。(必要に応じて、改訂していきます。)
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・スタッフ各々が意見を出し合い、共通理解し、目標に向けての活動を考えられています。	・引き続き、より良い支援を行うためにチーム体制を継続して行っていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・子どもの成長に必要な活動プログラムを多方面から考えて行っています。	・成長やその時々に必要な支援を、今後も工夫していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			・平日と学校休業日では療育時間が異なるため、それぞれに応じた課題を決め、活動支援を行っています。	・今後も休日や長期休暇では、時間をかけて取り組める活動や体験を工夫して行っていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・個別の課題と集団の中での子育てを踏まえて、計画を作成しています。	・個別で力を伸ばしていくこと、集団の中で社会性を育てていくことを大切に、引き続き計画を作成していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・支援開始前は打ち合わせを行っています。その日の活動内容、送迎の確認、子どもの状況について情報共有をしています。	・引き続き、支援開始前の確認を大切にしていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・終了後に振り返りを行っています。その日の活動の反省と翌日の活動の確認、子どもの状況と保護者からの連絡について情報共有をしています。	・引き続き、支援後の振り返りと情報共有を行っていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・個別、全体の活動を記録しています。それにより、スタッフ間の情報共有と支援方法の改善に繋がっています。	・引き続き、正しい記録に努め、支援の検証・改善に繋がっていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・6ヶ月(必要に応じて3ヶ月)に一度、家庭の様子と情報収集を行い、保護者懇談、個別支援計画の見直しを行っています。	・引き続き、6ヶ月ごとの情報収集、個別懇談を継続し、家庭と事業所の情報共有を行います。ニーズを把握し、6ヶ月に一度、計画を見直します。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			・自立支援、創作活動などガイドラインに沿って、多様な活動を行っています。	・引き続き、基本活動を基に利用者様に合った支援、活動を行っていきます。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・担当者会議には状況を把握しているスタッフ(児童発達支援管理責任者)が参画しました。	・引き続き、状況の把握をしているスタッフが担当者会議に参画します。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・月に、学校の行事予定と下校時刻の情報を提供していただいています。(必要に応じて、学校へ事業所利用予定日を伝えています。)緊急時には連絡がとれる体制を整えています。	・引き続き、情報共有を行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		・現在、常時医療ケアが必要な子どもの利用はありませんが、持病がある子どもの症状の把握、緊急時の対応、主治医の連絡先を把握をしています。	・必要に応じて、主治医と連絡をとり、情報共有を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1		・就学前の情報は、保護者様より提供していただいています。今後は必要に応じて各機関に情報共有を依頼していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3			・これまでに中学(高校)卒業者はいませんが、今後就労支援など移行がある場合は申し送りを行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3			・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度も研修に参加できていません。終息しましたら、積極的に研修に参加したいと思います。また必要に応じて相談、助言を受けたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	3		・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度も交流する機会がありませんでした。地域のイベントが再開されたら、積極的に参加し、交流をしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	4		・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で参加できていません。終息しましたら、参加を検討します。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・送迎時に事業所での様子を伝え、家庭での様子をお聞きしています。成長していること、課題などを情報共有しています。	・引き続き、共通理解ができるように、情報共有していきます。保護者様の不安が軽減されるように、支援方法を伝えていきます。 ・送迎時にお伝えできない保護者様には必要に応じて電話などで状況をお伝えします。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		・プログラムに沿ったペアレント・トレーニングは行っていませんが、必要に応じて助言を行っています。	・引き続き、お子様への対応について、助言を行っていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に説明を行っています。	・必要に応じて、契約後の説明も行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・連絡帳、電話、送迎時、個別懇談時での相談に対し、助言を行っています。	・引き続き、保護者様の不安が軽減されるように助言を行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	4		・コロナ禍で、今年度も保護者会の開催、交流会の活動ができませんでしたが、終息次第、行いたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・送迎時や電話で話を聞き、改善に努めています。	・引き続き、ご意見、ご要望に対して、スタッフ間で改善策を話し合い、迅速に対応いたします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・活動、行事予定は前月までに利用予定表にてお知らせしています。活動の様子はホームページにて発信しています。	・利用者様にホームページにて情報の発信をしていることを周知していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5			・情報漏洩がないよう、書類等の取り扱いに充分気を付け、個人情報の管理を徹底しています。	・引き続き、個人情報の取り扱いに充分注意し、情報の漏洩がないように徹底します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・一人一人に合わせた伝達方法を探り、行っています。(ホワイトボードなどを用いた視覚支援、連絡帳の活用)	・引き続き、利用者様に合わせた情報伝達を行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		2	3		・新型コロナウイルス感染症が終息し、機会があれば、地域住民の方々を事業所の行事へ招待したいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。	・引き続き、職員研修を実施し、マニュアルの理解を徹底いたします。 ・必要に応じて、保護者様に周知いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・避難訓練を年2回行っています。(火災・洪水・地震想定した訓練)	・災害時に対応できるように、今後も定期的に訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・虐待が早期発見できるように、注意深く観察するようにしています。	・引き続き、虐待防止策の職員研修を実施し、虐待については早期発見に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			・身体拘束を行う必要が予測される場合には、計画書に明記し、保護者の同意を得ています。現在該当者はいません。	・引き続き、身体拘束に関しては生命や身体を保護するため、緊急を要する場合のみとします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			・アレルギーの有無を利用開始時にお聞きし、該当者には活動で使用しないようにしています。	・引き続き、アレルギーの有無を情報共有し、活動を検討していきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			・事業所内で、危険な事例があった場合、報告書に記入し、情報共有を行っています。	・引き続き、ヒヤリハット事例を検討し、再発防止に努めます。	